

国際交流センターだより vol.4

奈良県立医科大学医学部医学科同窓会 海外留学助成金 厳檀学術奨励賞受賞者決定

令和3年度厳檀学術奨励賞の受賞者は、5名の応募者の中から輸血部の酒井和哉先生に決定しました。酒井先生は2021年6月から2024年3月までの予定で、ベルギーのルーヴェン・カトリック大学に留学されています。

この賞は、母校の発展の一助とするため、海外における学術研究、調査等に従事する者に対し、同窓会がその費用の一部を海外留学助成金として支給しているものです。毎年3月頃に募集案内を配布しています。皆さまの積極的なご応募をお待ちしています。



研究室の皆さんと（右から4番目が酒井診療助教）

厳檀学術奨励賞受賞報告

輸血部 診療助教 酒井 和哉



この度は名誉ある賞を頂戴し光栄に思います。この栄誉は私個人の力ではなく、これまでに自分を指導して育てて頂いた松本雅則教授と、自分を支えてくださった多くの方々のお陰であると実感しております。留学先であるベルギーのルーヴェン・カトリック大学では、これまで従事していた研究テーマである血栓性血小板減少性紫斑病に関する基礎研究を精力的に行い、実臨床に貢献できるような新たな知見を得たいと考えています。

留学報告：マウントサイナイ医科大学（米国）

精神医学 助教 岡村 和哉（留学期間：2020年9月～）

2020年9月より、マウントサイナイ医科大学へ留学させていただいております。本来なら2020年4月からの留学予定でしたが、このCOVID-19パンデミックにより米国領事館が突然閉鎖されるという事態に陥りこの時期になりました。留学先のMorishita研は、発達に伴う脳神経回路の変化を、遺伝子改変マウスやウイルスを用いた神経活動の計測や操作を行うことで明らかにしており、近年多くの有名ジャーナルに掲載されている研究室です。まだ渡米して8か月程ですが、多くの研究結果を得ることができており充実した研究生生活を送ることができています。

渡米直後のニューヨークは3月から始まったロックダウンがようやく明け、人々が街やセントラルパークへ出かけ始め少しずつ日常を取り戻そうとしているところでした。それでもレストラン店内での飲食は禁止され、閉店した店も目立つなど、COVID-19のもたらした被害の大きさを目の当たりにしました。12月からはワクチン接種が始まり、私も2月にPfizer製薬のワクチンを接種しました。ワクチンを契機に徐々に規制も緩和され、2月からは店内での飲食も25%のみ解禁され（6月現在は制限が完全解除）、現在はワクチン接種者の屋外でのマスク着用義務も解除され、米国内からの旅行者が増えるなど、渡米時期より随分と活気が戻ってきているように思われます。日本も現在大変な状況が続いているかと思いますが、ワクチンの普及とともに活気のある生活を取り戻すことを願っています。



Mount Sinai Hospital



Brooklyn Bridge にて

安全保障輸出管理への取り組み vol.3

Zoom等オンラインも対象となります！

安全保障輸出管理とは、日本を含む国際的な平和及び安全の維持を目的として、武器や軍事転用可能な貨物（装置・試料等）及び技術を大量破壊兵器の開発等を行っている国やテロリスト等の手に渡ることを防ぐための管理制度です。

安全保障輸出管理では「貨物の輸出・技術の提供」が対象となり、大学における研究活動も規制の対象となる可能性があります。Zoom等オンラインでの外国人研究者との打合せも「大学における技術の提供の機会」となりますのでご注意ください。

【お問合せ】安全保障輸出管理事務局（国際交流センター）内線 2479

【規程・様式等】学内ホームページ>国際交流センター>安全保障輸出管理